

成・少年女子
共通400mR

埼玉(鈴木、土井、田植、高橋)3位

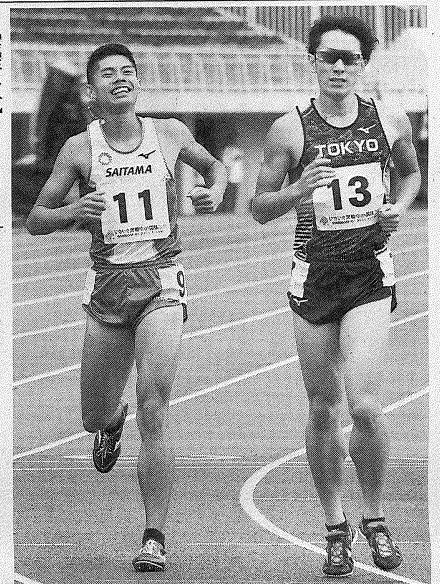
成・少年男子
800m西久保(早大)6位に

2019
さいたま
ゆめ国体



国民体育大会「いきい
われ、陸上の成・少年女
3位入賞。成年男子800
冬季大会から茨城での
陸上成・少年男子800m
は、西久保が1分51秒43
で前年と同じ4位。女子
総合得点(皇后杯)の埼玉
は、997・5点で昨
年から順位を一つ上げて
4位になった。
(記録は埼玉関係
競技場)

陸上 成・少年女子共通400mR決勝 3位に入った埼玉の第3走者田植(右)から
第4走者高橋にバトンをつなぐ=茨城県笠松運動公園陸上競技場 (渋谷雅也撮影)



陸上 成年男子800m決勝 1分51秒43で6位入賞した西久保達也(左)

集大成 見せた威力

陸上の成・少年女子共通400mRの埼玉は、45秒61で3位入賞。決勝は4人の力が集結したレースだった。
第1走者鈴木(埼玉菜高は、「一走目としていい流れをつくる」とスタートから飛ばし、5位で第2走者土井(JAL)につないだ。チーム最年長で28歳の土井は、「食らい付いてい

「必死に走る」と加速。コー

を詰めてリレーした。第3走者田植(法大)は「アンカーに余裕を与えたい」と奮闘し、レースは上位6チームによる混戦模様。アンカーの高橋(昌平高)に「ファイナル」と声を掛け、バトンを託した。チーム最年少で高校1年生の高橋は、先輩たちから引き継いだバトンを左手に握り締め

「必死に走る」と加速。コー

本大会までの年間通算では、埼玉の西久保は、埼玉は男女総合得点(天皇杯)が1735点で前年と同じ4位。女子総合得点(皇后杯)の埼玉は、997・5点で昨年から順位を一つ上げて4位になった。
(記録は埼玉関係競技場)

陸上成年男子800mは、西久保が1分51秒43で6位入賞を果たした。国体出場は今年を最後にすると決めていただけに、「埼玉に貢献できてよかった」と納得のほほえみが浮かんだ。
前半の400mを1位で通過。残り300m辺りから後続にかわされたものの、フィニッシュラインまで粘り強く走り抜いた。11月上尾運動公園陸上競技場で行われる記録会を最後に、競技人生に幕を下ろす。西久保は「今ある力を出していきたい」とラストランに視線を向けた。

陸上成年男子800mは、西久保が1分51秒43で6位入賞を果たした。国体出場は今年を最後にすると決めていただけに、「埼玉に貢献できてよかった」と納得のほほえみが浮かんだ。
前半の400mを1位で通過。残り300m辺りから後続にかわされたものの、フィニッシュラインまで粘り強く走り抜いた。11月上尾運動公園陸上競技場で行われる記録会を最後に、競技人生に幕を下ろす。西久保は「今ある力を出していきたい」とラストランに視線を向けた。

納得のラストラン

「ワンチーム」で4位
天皇杯 総括 皇后杯
埼玉は今年の国体で、年間の男女総合得点(天皇杯)が昨年と同じ4位、女子総合得点(皇后杯)は前回よりも順位を一つ上げた4位。ともに3位の目標は達成できなかったものの、県選手団の小谷野幸也総監督(県スポーツ振興課長)は「努力の成果が表れた結果で、戦い抜いた選手団をねぎらいたい」と総括。声援を送った。選手団の皆さまにお礼申し上げる」と感謝した。
天皇杯は1735点で昨年から90・5点上がったが、997・5点を挙げた皇后杯は前年より40点上積みした。競技別天皇杯では、テニスとライフル射撃で2連覇を達成。競技別皇后杯でもテニスを2連覇したほか、ゴルフが1位となった。
小谷野総監督は選手監督、スタッフがまさにワンチーム埼玉となった大会と選手団の健闘を評価。「埼玉県の選手たちの挑戦は続くので、これからも活躍に注目してもらいたい」と、さらなる飛躍に意欲を見せた。
(渋谷雅也)